

Domaine de Montille

ドメーヌ ド モンティエーユ



ドメーヌ・ド・モンティエーユは、力強さや濃密さよりもバランスとエレガンスを重視し、素晴らしくピュアなアロマを持つワインを生み出すブルゴーニュ屈指の作り手として知られています。ドメーヌの起源は 1730 年代に遡りますが、今日のモンティエーユをモンティエーユならしめているドメーヌの現代の歴史は、ユベール・ド・モンティエーユが亡き父の後を継いで齢わずか 17 にしてドメーヌでワイン造りを始めた 1947 年に始まります。

その 4 年後よりドメーヌのワイン造りの全責任を一手に引き受けようになったユベールは、定年を迎えるまでディジョンで弁護士を続けながらワイン造り続け、ユベールの息子エティエンヌと娘のアリクス(ジャン・マルク・ルーロと結婚)もドメーヌの仕事を手伝うようになります。当時、ドメーヌの自社畑は総面積わずか 2.5 ヘクタール程でしたが、1990 年以降、銀行家として働いていた息子のエティエンヌがドメーヌでより責任のある仕事を担うようになるにつれて、コート・ドールでも格付けの高いブドウ畑を次々に買い足してゆきます。

1993 年にピュリニエのカイユレ、2004 年にコルトン・シャルルマーニュ、2005 年にマルコンソールとクロ・ヴージュを含むトマ・モワラルの自社畑の一部を買い取り、2012 年にはシャトー・ド・ピュリニエ・モンラッシェを吸収合併し、シュヴァリエ・モンラッシェやピュリニエのフォラティエール、ムルソー・ポリュゾ、サン・トーバンのアン・ルミリエ、クロ・デュ・シャトー・モンラッシェなど計 14 ヘクタールの名高い銘醸畑を手中に収めました。

現在ドメーヌは、総面積 37 ヘクタールの自社畑を所有しています。またエティエンヌは、妹のアリクスと共に白ワインに特化した「レ・ドゥー・モンティエーユ」というネゴシアン事業を 2003 年に立ち上げました。エティエンヌがドメーヌにもたらした最大の改革と功績は、1995 年から有機栽培を始め(有機認証機関 Ecocert の認証取得済)、2005 年から全ての自社畑のブドウ栽培をビオダイナミ栽培へ移行させたことです。

ユベールのワインが長期熟成を経て優美に成熟してゆくことで知られる一方、酒齢の若いうちは収斂性が感じられたのに対し、エティエンヌが実施したアプローチは、厳しい収量制限、有機肥料のみの使用、フェノール成分の成熟度合を慎重に見極めた収穫日の選択、醸造手法の緻密な微調整により、長期熟成力を損なうことなく、より豊かなアロマとシルキーで滑らかなテクスチャーを持つ酒齢の若いうちから打ち解けやすいワインを造ることでした。(ユベールが発酵の際に 1 日 6~8 回ピジャージュを行い、ホールパンチ果汁を常に 25~50% 程の割合で使用していたのに対し、エティエンヌはピジャージュの回数を 1 日 2 回までに減らし、ホールパンチ果汁の使用比率を 0~100% まで幅を持たせ、ヴィンテージの質によって使用比率を判断しています。)

歳月を経ても変わらなかったのは、新樽比率を控えめにしている点で、木樽熟成の期間は 14~18 か月程。通常通りの年であれば、無濾過・無清澄で瓶詰しています。エティエンヌとアリクスは、この歴史ある偉大なドメーヌをきめ細やかに変革させながら、ブルゴーニュでも指折りのトップ生産者としての地位を確固たるものとしています。

■2019 年ヴィンテージ情報■ ◆バーグハウンド 2021/6 月 10 日掲載記事より◆エティエンヌ・ド・モンティエーユ:「2019 年は、潜在収量は 25% 減りましたが、結果として、とても健全で完熟した見事な酸を持つブドウを得ることができました。果皮は厚く、タンニンを抽出しすぎないように、全房の使用比率を調整しながら丁寧に醸造しました。赤ワインは、凝縮感と力強さを持つ 2016 年とエレガンスとテロワールの透明性が表現された 2017 年をブレンドしたようなスタイルを想起させます。数年寝かせればさらに素晴らしい味わいになるでしょう。白ワインについては、似たスタイルの年は思い浮かびませんが、非常に素晴らしい出来です。醸造の初期段階で、とてもリッチなスタイルになることが分かっていたので、パトナーージュはほぼ行っていません。」

~White Wines~

2019 Meursault 1er Cru Les Porusots

上代価格 ¥14,500(税抜)

ムルソー プルミエ クリュレ ポリュゾ

【辛口/白】 品種:シャルドネ 100% 畑面積:0.63ha 土壌:泥灰土や石灰質の小石等

この区画のブドウは、早い時期に収穫することで、凛とした緊張感のあるワインに仕上がります。また、このワインのエキゾチックな個性を生かすため、新樽はほとんど使用していません。

★ヴィノス 89-91 点:ぎっしり詰まったアロマが香り立ち、心地良い砂糖漬けのオレンジの皮や白桃を思わせる香りの奥から焼きクルミのニュアンスが仄かに漂う。口に含むと、滑らかな質感を伴うバランスの良さが感じられ、微かにトロピカルな風味が広がる、調和のとれたフィニッシュが印象的。

〈飲み頃:2023 - 2038 年 | 2020 年 10 月掲載〉 他誌評価:★バーグハウンド 92 点〈飲み頃:2029+年〉



2019 Meursault 1er Cru Les Perrières

上代価格 ¥22,500(税抜)

ムルソー プルミエ クリュ レ ペリエール

【辛口/白】 品種:シャルドネ 100% 畑面積:0.45ha アルコール:13%

その畑名から石や石採場を想起させるペリエールの土壌は、石灰質の小石や砂利から成り、ミネラル感にあふれた秀逸な白ワイン生み出しています。

★バークハウンド 93 点★Sweet spot Outstanding :グリーンアップルにハーブティや仄かなミネラル、スパイスの濃厚な香りが加わり、深みのあるアロマへと発展してゆく。力強く、見事な重厚感を備えたミネラル主体の味わいで、洗練された後味が極めて長い余韻を生む。この美しいワインは、さらに熟成させる必要がある。《飲み頃:2031+年 | #83/2021年6月10日掲載》

他誌評価:★ヴィノス 90-92 点 《飲み頃:2023 - 2038 年》



2019 Puligny Montrachet 1er Cru Les Caillerets

上代価格 ¥25,500(税抜)

ムルソー プルミエ クリュ レ カイユレ

【辛口/白】 品種:シャルドネ 100% 畑面積:0.85ha アルコール:13%

ル カイユレは、モンラッシェに最も近い区画に位置し、シュヴァリエ・モンラッシェとレ・ピュセルに挟まれています。「このワインは、常に素晴らしく、完璧かつ洗練されたスタイルを備え、気品溢れる味わいが特徴です。私がドメヌーの中で特に好きな白ワインです(アリックス)」

★ヴィノス 92-94 点: 新樽で 30% 熟成させているが、樽香がほとんど感じられない点で醸造家ブライアン・シーヴと意見が一致した。口に含むとマンゴーやパッションフルーツのトロピカルなニュアンスが仄かに香り立つ。次第に柑橘類のニュアンスを帯びてゆき、引き締まった後味へと続く。素晴らしいポテンシャルを備えたワイン。一旦瓶詰されれば、極上の味わいへと発展していくだろう。《飲み頃:2024-2042年 | 2020年10月掲載》

他誌評価:★バークハウンド 91-94 点 《飲み頃:2029+年》



2019 Corton Charlemagne

上代価格 ¥26,500(税抜)

コルトン シャレルマーニュ

【辛口/白】 品種:シャルドネ 100% 畑面積:1.02ha(レ・プージュ)

モンティエユが 2005 年に購入したこの区画(レ・プージュ:赤ワインも白ワインも作れるクリマ)は、このグラン・クリュの中で最も東側に位置している。樹齢は 15 年の若木から 45 年の古いものまでである。南向きの斜面を持つため、モンティエユの自社畑の中でも最初に収穫を迎えることが多い畑である。新樽率 30%。

★バークハウンド 91-94 点:グリーン系の果実、リンゴ、アカシア、レモングラスを想起させる爽やかさを伴う熟した果実のエレガントなアロマ。凛とした酸とミネラルを主体とした味わいは、若々しく堅牢な後味にしなやかさをもたらす、美しい余韻がどこまでも続く。この張りのある力強さを備えたワインは濃厚すぎず、とてもバランスの良い味わいで、素晴らしい熟成ポテンシャルを備えている。《飲み頃:2029+年 | #83/2021年6月10日掲載》

他誌評価:★ヴィノス 90-92 点《飲み頃:2022-2035 年》



~Red Wines~

2019 Nuits St Georges Aux Saints Juliens

上代価格 ¥10,000(税抜)

ニユイ サンジヨルジュ オー サン ジュリアン

JAN: 4543190170390

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% 畑面積:0.58ha 樹齢:55年 土壌:粘土質

醸造:ホールバンチ果汁:66%

ヴォーヌ・ロマネ側の傾斜地のふもと—1 級畑トレイ寄りに位置する区画。ヴォーヌ・ロマネに極めて類似するスタイルを備えたこのワインは、非常にアロマティックで香水のようにフローラルな香りを持つ、柔らかく瑞々しい味わいが特徴です。

★ヴィノス 88-90 点:ラズベリーやカシスを思わせるパンチの効いたアロマが心地よく香り立つ。見事なバランスを備えた味わいで、口に含むと丸みを帯びた凝縮感のある果実味が絶妙に口中を引き締め、後味にブラックチェリーとカシスの果実味が重層的に感じられる。《飲み頃:2023-2033年 | 2020年10月掲載》

他誌評価:★バークハウンド 89 点《飲み頃:2027+年》



2019 Beaune 1er Cru Les Grèves

上代価格 ¥13,000(税抜)

ボーヌ プルミエ クリュ レ グレーヴ

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% 畑面積:1.26ha 土壌:粘土石灰質

類稀なるフィネスを備えた秀逸なワインを生み出すレ・グレーヴ。モンティエユでは、このワインをグラン・プルミエクリュ(グラン・クリュに近いプルミエ・クリュ)として位置付けています。

★バークハウンド 92 点★Outstanding(傑出したワイン):カシス、ブラックチェリー、温かい土、スパイスを想起させる深みのあるアロマが香り立つ。爽やかさを伴う心地よさとともに力強さを感じさせるミディアムボディの味わいは、リッチで重厚感があり、後味に微かに素朴さを残しながら、長く美しい余韻を生み出す。《飲み頃:2031+年 | #82/2021 年 4 月 10 日掲載》

他誌評価:★ヴィノス 90-92 点 《飲み頃:2023-2038 年》

2019 Nuits St Georges 1er Cru Aux Thorey

上代価格 ¥15,000(税抜)

ニュイ サン ジョルジュ プルミエ クリュ オー トレイ

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% 畑面積:0.73ha 土壌:石灰岩、泥灰土 醸造:ホールバンチ果汁: 66%

ニュイ・サン・ジョルジュの広大で複雑なテロワールは、北に行くほどヴォーヌを彷彿とさせる繊細で豊かな香りを持つ柔らかな味わいとなり、プリモー寄りの南に行くほど重厚で引き締まった味わいを持つ長期熟成型のワインとなります。モンティエユが所有する 073ha のオー・トレイの区画は、このクリュの中で最もヴォーヌに近い区画で、ヴォーヌによく似た香り豊かでフローラルなアロマと瑞々しく柔らかな味わいが楽しめます。

★ヴィノス 93-95 点:レッドチェリー、ラズベリーのエlegantなアロマにローリエと下草がニュアンスが感じられる。石灰質土壌由来の上質な酸を湛えたミディアムボディで、焦点の定まった緊張感のある後味を生む。ゴージャスを纏った極めて優美なオー・トレイ。《飲み頃:2024 - 2048 年 | 2020 年 10 月掲載》

他誌評価:★バークハウンド 89-92 点《飲み頃:2029+年》



2019 Volnay 1er Cru Les Champans

上代価格 ¥21,000(税抜)

ヴォルネイ プルミエ クリュ レ シャンパン

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% 畑面積:0.96 ha 土壌:粘土質、石灰質 醸造:ホールバンチ果汁の使用比率:33%

斜面を意味すると言われるシャンパンの畑は、その名の通り、日当たりの良い丘の斜面に位置しています。しっかりとした骨格を備えながらもエレガントさを湛えた味わいが特徴です。

★バークハウンド 91-94 点★Outstanding(傑出したワイン):プラム、ブラックラズベリー、スパイス、スマレのニュアンスを帯びたより熟したアロマが広がる。重厚感のある非常に濃厚なミディアムボディで、生き生きとした凝縮感のある果実味が微かに硬さを残したタンニンと和らげ、複雑な長い余韻を生む。素晴らしいワイン。《飲み頃:2031+年 | #82 2021 年 4 月 10 日掲載》

他誌評価:★ヴィノス 91-93 点 《飲み頃:2023 - 2038 年》

2019 Corton Clos du Roi

上代価格 ¥27,000(税抜)

コルトン クロ デュ ロワ

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% 畑:トマ・モワラルから 2005 年に購入 畑面積:0.84ha 土壌:粘土石灰質 樹齢:75 年以上 醸造:ホールバンチ果汁 66%

クロ・デュ・ロワは、コルトンの中で最高級のクリュとして知られており、最後の公爵シャルル・ル・テメレルが 1477 年に逝去するまで、ブルゴーニュ公爵家が所有していました。その後、フランス国王、ルイ 11 世の所有地となりました。複雑性と深みを兼ね備えた上質な味わいが特徴です。

★バークハウンド 91-94 点:ブラックチェリー、温かい土、スマレを思わせる刺激的なアロマとともに微かに素朴なニュアンスが香る。非常に滑らかで、スケール感が大きい濃厚な味わいは、ミネラルと凝縮感のある果実味を湛え、堅牢でシリアスな後味を生む。このワインをさらに美味しく味わうには、時間をかけて熟成させる必要があるだろう。《飲み頃:2036+年 | #82/2021 年 4 月 10 日掲載》

他誌評価:★ヴィノス 92-94 点 《飲み頃:2023-2043 年》

